

創刊号

## みずほベトナムニュース Vol.1

(2008年3月)

(写真はみずほコーポレート銀行  
ホーチミン支店の女性職員です)

## ~~~ 目次 ~~~

1. 特別企画「ベトナム計画投資省外国投資庁長官インタビュー」……………P2
2. ベトナム投資 Q&A ………………P5
3. 人事・労務「日本企業にとってのベトナム人材の魅力と特徴」……………P6
4. ベトナム法務「合併と買収(M&A)：30%、49%それとも 100%？」…P7
5. 工業団地便り「第二タンロン工業団地 (TLIP II)」……………P9
6. ベトナムドン為替情報 ………………P11
7. 経済データ ………………P12
8. 創刊にあたって ………………P13

編集・発行 みずほ銀行国際業務部

## 1. 特別企画

### 計画投資省外国投資庁長官インタビュー

執筆：みずほ銀行国際業務部

日本企業だけでなく台湾や韓国、欧米企業のベトナム進出が加速しています。2007年の海外直接投資(FDI)も前年比70%増の203億ドルとなり、数値の面からも確実に投資は増加しています。このほど、外国資本がベトナムに投資する際の認可権限をもつベトナム計画投資省を訪問し、同省外国投資庁長官のPHAN HUU THANG(ファン・フュー・タン)氏にインタビューしました。タン長官は、日本語人材や中間管理職が不足している点について、「政府が職業訓練学校を設立するなど取り組みを進めているが、日本企業にも人材育成機関の設立に協力してほしい」と語り、ベトナム投資だけでなく、日本企業による人材教育への期待感も示しました。タン長官との一問一答は以下の通りです。

みずほ WTO加盟はベトナム経済にどのような影響を与えたか？

タン長官 WTO加盟のおかげでベトナムは大きな成果を挙げている。2007年度のベトナム経済は引き続き高成長を維持し、FDI誘致額(認可ベース)は2倍近くまで増加している。

間接投資も約50億ドルに達し、輸出も大きな伸びを示している。越橋(海外定住ベトナム人)による送金も70億ドルとなり、2006年の45億ドルと比べれば50%以上増加した。WTOの加盟の効果は、2008年も引き続き続くだろう。

みずほ 2008年のFDIの見通しは？

タン長官 ベトナムへのFDIは急増している。2006年には100億ドルを初めて超え、2007年は、203億ドルと前年比70%増を記録した。この数字は、外国投資法が1987年に公布されて以降初めて。この20年間の投資総額約980億ドルの2割を占めていることから、2007年の投資規模がわかる。

2008年は引き続き、高い伸び率を維持するとみられる。1月のFDIはすでに約17億ドルとなり、前年同期比で5倍に相当することから、2008年も2007年と同程度の額を誘致できると確信している。ただ、FDIの誘致において重要なのは、ベトナム経済



ベトナム計画投資省外国投資庁、タン長官(右)と同局のシニア投資アドバイザー、市川匡四郎氏

